

ひまわり



第19回 福祉の絵手紙 優秀賞受賞作品 柴田 道子 様

171号

令和5年9月10日

- 2 ▶ 3 第31回職員合同研修会
- 4 敬老特集 ● 長寿番付2023
- 5 各施設で夏祭り開催
- 6 ▶ 7 連載vol.25 ● [郷土の歴史] 田原福祉グローバル専門学校
- 8 連載vol.62 ● [記録に残したい記憶] ~貴重な体験を語り継ぐ~
- 9 ▶ 12 各施設トピックス
- 13 ▶ 14 福寿園ニュース / 文化祭ご案内 / 家族会だより
- 15 連載 ● 外国人介護士 紹介インタビュー
連載 ● 施設長・管理者のリレーコラム
連載 ● 福寿園オリジナル四コマまんが「新人介護士 フクちゃん」
- 16 第7回感謝の集い(福寿園をはぐくむ会)ご案内



第31回 職員合同研修会



7月18日、ロワジールホテル豊橋を会場に、第31回職員合同研修会が開催され、各地区から200名の職員が会場に集まり、同時にオンライン参加者も含めて計284名が参加しました。会の冒頭では永年勤続表彰が行われ、10年勤続から35年勤続までの計58名の職員

員へ理事長より感謝状と記念品が授与されました。永年勤続者代表の謝辞では、法人の歴史を支えた苦勞や思い出、上司、先輩や同僚への感謝の気持ちが語られました。それに続き、令和4年度「気づき大賞」の表彰も行われました。

その後、山田前理事長からのメッセージでは、一人ひとりの職員に対する深い感謝と、未来への期待が伝えられ、夢ある未来の福寿園に向けて期待の言葉がありました。

午後の部では、基調報告として、古田新理事長から「所信表明」と題し、未来会議、健康経営、グローバル戦略、ブランド戦略と4つの柱を基軸とした福寿園の未来に向けた展望が語られました。特に「人生を楽しむコツは仕事を楽しむこと」「楽しくなければ仕事じゃない」というメッセージは、職員の心にも大きく残ったようです。

午後の部では、2名の外部講師をお招きしました。一人目は、こころ元氣研究所・(株)エンパワーコミュニケーション所長の鎌田敏氏です。「こころ元氣に仕事をするには！」ストレスコントロールで心のパワーを高めよう」をテーマに、メンタルヘルスを支えるレジリエンス（ストレスに対応する力）や「心は空気感染する」といった言葉等、コミュニケーションの本質について、分かりやすく、そして、楽しくお話いただきました。

続いて、特定非営利活動法人東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター理事長の田島誠一氏より「社会福祉法人・法人の今後」理念に基づく経営と職員の行動」と題しご講演いただきました。社会福祉の歴史と原点に立ち返り、社会福祉法人のあるべき姿を福寿園の経営理念と照らし合わせながらお話しいただきました。法令や制度にとらわれず、地域のニーズに合わせたオーダーメイドの社会福祉の重要性が強調され、改めて、法人や職員一人ひとりに対する使命感を新たにすることができました。

研修会終了後は、4年ぶりの合同懇親会も開催され、久しぶりに施設の枠を超えて交流ができ、職員同士の親睦を深める有意義な機会となりました。

今回の研修会は理事長交代の節目でもあり、今までの法人の歴史に思いを寄せ、新しい時代に向けたスタートラインとなりました。

本研修会の成果を活かし、日々、利用者サービス向上に努める職員の意欲とモチベーション向上につながればと思います。



左より
30年勤続
山田まなみさん(養護盲)
35年勤続
辻 美保さん(法人本部)
傍嶋 博志さん(ひまわりの街)
丹羽 勉さん(豊田福寿園)



勤続者表彰式



講演する鎌田氏

令和4年度 気づき大賞



講演する田島氏

- 金賞 伊藤里乃さん(豊田福寿園) [中央]
- 銀賞 小松 花さん(ちた福寿園) [右]
- 銅賞 高瀬 光さん(渥美福寿園) [左]
- 銅賞 ヴァンティジェンさん(豊田福寿園) [施設にて表彰]

第31回 社会福祉法人 福寿園 職員合同研修会 懇親会



祝敬老 おめでとつございます

今年の9月18日(月祝)は敬老の日です。多年にわたり社会に尽くしてきたお年寄りを敬愛し、長寿を祝うとともに、若年者が高齢者の福祉に関心を深める機会になるようにとの願いも込められています。お健やかに敬老の日を迎えられますことに、心からお慶び申し上げます。

祝敬老 福寿園 長寿番付(二〇二二)

令和五年秋場所 年齢はすべて令和五年八月末日現在です。(敬称略)

東

横綱 田中 しゃう	五ノ目 間瀬	十面一 村井 きみ子
大関 花の里 大島 やす子	六ノ目 服部	二ノ目 増田 ヨシ
大関 藤原 ハツ子	七ノ目 伊東	三ノ目 原 寺田 あつ子
関 脇 伊藤 春子	八ノ目 森 文子	四ノ目 原 木村 巖
小 結 なみ 寺嶋 吉江	九ノ目 原 仲谷 光治	五ノ目 高瀬 三郎
小 結 なみ 近藤 ぎん	十ノ目 美原 よね	六ノ目 原 渡邊 キヨ子
前頭 山田 保範	十一ノ目 佐藤 いとあ	七ノ目 美森 ハルコ
二ノ目 伊藤 美鶴	十二ノ目 原 八木 てる子	八ノ目 原 加藤 小末
三ノ目 阿部 よね子	十三ノ目 藤田 リツ子	九ノ目 伊藤 久江
四ノ目 渡會 ゆり	十四ノ目 美杉 浦 朝子	十ノ目 山下 多美子
	十五ノ目 日高 ユキ子	十一ノ目 水野 清子
	十六ノ目 原 河邊 千歳	十二ノ目 田 小林 力子

西

横綱 田 柴田 スエツ	五ノ目 中嶋 はな子	十面一 花の里 大谷 美八子
大関 伊賀 千鶴子	六ノ目 山本 千代	二ノ目 原 井下 善男
関 脇 松山 ゆきあ	七ノ目 酒井 キミ子	三ノ目 美遠 山 いそ子
小 結 なみ 杉本 一久	八ノ目 加藤 はな	四ノ目 美袴 田 ナミ子
小 結 花の里 小川 ちよ子	九ノ目 江口 キ子	五ノ目 杉浦 ミネ子
前頭 大場 かつ	十ノ目 美小久保 千里子	六ノ目 小久保 サチ子
二ノ目 萩野 つや子	十一ノ目 武井 津ね子	七ノ目 田中 早苗
三ノ目 中山 清子	十二ノ目 美荒 木 くす	八ノ目 中野 政子
四ノ目 美原 恒雄	十三ノ目 羽根 下 キ子	九ノ目 杉浦 ゆり子
	十四ノ目 關 根 トキ子	十ノ目 山崎 マサ子
	十五ノ目 原 關 自 綾野	十一ノ目 西 堀 のぶ子
	十六ノ目 遠 近藤 志ま	



夏祭り

祭 開催

SUMMER FESTIVAL

各施設で久しぶりに夏祭りが開催されました。ご家族にも参加いただき、夏の一夜を楽しめました。太鼓の音に心が弾み、屋台のやきそばにたこ焼き、ビールやかき氷に舌鼓。佐藤朱実さんが歌う『福寿園ゆめ音頭』に自然と体が踊り出し、やぐらを囲む大きな輪は、輝く笑顔でいっぱいでした。



夏祭りの様子はインスタでも公開中▶





重要文化財 一掃百態図(部分) 寺子屋図

池ノ原幽居跡

田原市田原町中小路周辺

田原の偉人「渡辺崋山」 その一 崋山の生涯

わたなべ かつざん

江戸時代後期、田原藩の家老として、また蘭学者や画家としても活躍した渡辺崋山。崋山が晩年過ごした屋敷跡である池ノ原公園は、福寿園が運営する田原福祉グローバル専門学校の目の前に位置します。田原が誇るこの偉人の生涯とその業績について、2回に分けてご紹介します。

崋山の生い立ちと立志

渡辺崋山は寛政五年（一七九三）、江戸の田原藩上屋敷で渡辺家の長男として生まれました。田原藩は財政難で家臣の減給が続き、かつ渡辺家は大家族のうえ父が病気がちで貧しい生活を強いられ、弟や妹を奉公に出したり出家させたりしていました。12歳の時、崋山は日本橋界隈で大名行列を横切つてしまい、往來でその家来たちにひどく叱責されてぶたれます。おかごに乗っていた若君が自分とは同年齢なのを見た崋山は、同じ人間なのにこの違いは何かと思いました。そして、勉強に励んで学問で身を立て、位の高い人と対等な立場になろうと決意したのです。崋山は14歳の時、幼い弟を寺に送

り出すため自ら板橋まで連れていきました。雪の中を見知らぬ男に手を引かれていく弟と断腸の思いで別れたことが、立派な人になるという崋山の志をいつそう奮い立たせました。

田原藩士として

幼い頃から苦勞して勉強を重ねた崋山は、8歳で若君のお相手役として勤務し、どんどん上り進んで、40歳で家老となります。そして領民の負担を軽くするための助郷役免除や藩を豊かにするための産業改革など、民のことを第一に考えた数々の政策を進めました。中でもよく知られるのが、天保の大飢饉（一八三三〜三九年）に対して本格的な飢饉が来る前に設けた「報民倉（食料倉庫）の建設」です。このおかげで田原藩で

は一人の餓死者も出さず、全国で唯一、幕府から表彰されました。

画家として

崋山は子どもの頃に平山文鏡に絵の手ほどきを受けたのち金子金陵や谷文晁らに師事し、20代半ばには画家として有名になりました。絵を描く上で崋山が大切にしたのは、対象を生命感あふれるように描くこと。花鳥画や山水画など様々な絵を描きましたが、ことに肖像画を得意としました。国宝「鷹見泉石像」や重要文化財の「一掃百態図」をはじめ、多くの重要文化財、重要美術品が残されています。

学者として

崋山は儒学者の鷹見星臯や佐藤一斎、松崎慊堂に学びました。また学



重要文化財 渡辺崋山像(椿椿山筆)部分

華山ゆかりのスポット

■池ノ原公園

渡辺華山が晩年を過ごした屋敷跡(田原市指定史跡)が公園として整備されています。復元された幽居邸や、華山の銅像、東郷平八郎による「華山先生玉砕の地」の碑などがあります。
※田原市田原町中小路17



池ノ原公園

■華山神社

田原城出丸(新倉)跡に建てられた神社で、華山の遺徳をしのび、毎年命日の10月11日に大祭が開催されます。
※田原市田原町巴江14-2



華山神社

■田原市博物館

田原城二ノ丸跡に建設された博物館。華山に関する作品や資料が展示・収蔵されているほか、華山にゆかりのある人物の作品も収蔵されています。
※田原市田原町巴江11-1

■城宝寺

華山の墓所があることで名高い寺。境内には華山が26歳の時に詠んだ「見よや春 大地も享す 地虫さへ」の句碑が立っています。
※田原市田原町稗田5

- 取材協力：田原市博物館 学芸員 増山禎之さん
公益財団法人 華山会 事務局長 大根義久さん
- 写真・資料提供：田原市教育委員会(田原市博物館)
公益財団法人 華山会
- 参考資料：田原の文化財ガイド「渡辺華山」(発行：田原市博物館)、偉人物語「渡辺華山」(発行：華山会)、華山社リーフレット、田原市博物館Webサイト、華山会Webサイト、田原市Webサイト、渥美半島観光ビューローWebサイト
- 取材執筆：手嶋慶子



立志の像(田原市博物館)

蜜社の獄

しかし、儒学派の多い幕府役人にとって蘭学の進出は目障り、蘭学者の弾圧が行われました。陰謀により無人島渡航計画があるとして、幕府は天保

者・文人らと交友し、漢詩、和歌、俳諧書にも通じました。後に江戸藩邸学問所の総指南役となつて後進の育成に力を注ぎ、晩年には貧苦の中で集めた書籍を藩へ献上しています。
30代から外国事情に関心をもち、蘭学や兵学の研究を開始。鎖国日本の水準が世界より遅れていると考え、海防上の危機的な状況を明らかにし、その打開策を探ろうと仲間と共に蘭学の研究に取り組み、蘭書を多く集めて、高野長英や小関三英らにその翻訳を頼みました。

華山の最期

十年(一八三九)五月、華山や高野長英ら10数名を捕らえます。渡航の罪は晴れたのですが、日本の置かれた状況を憂いて書いた「慎機論」が机の底から見つかったため幕政批判の重罪とされ、華山は田原への蟄居となり、長英は永牢(無期入牢)となりました。
蟄居中、華山は作画に専念して多くの名作を描きましたが、生活は苦しく、家計を助けようと弟子たちが華山の絵を売りました。この行いが不謹慎だと噂され、藩主に迷惑がかかるのを恐れた華山は「不忠不孝渡邊登」と墓表を書き、自刃したのです。49歳でした。
※渡辺華山の生涯を紹介した紙芝居「渡邊華山先生」(昭和初期頃、愛知県内政部振興課が作成)は、田原市博物館や公共財団法人華山会のホームページにてご覧いただけます。



報民倉(渡辺華山紙芝居より)

連載 62

記録に残したい記憶 ～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介します。

昭和20年8月15日、中島飛行機半田製作所の疎開先東浦工場で天皇陛下の重大発表のもと終戦となり、平和を迎える事に成り、8月31日をもって退職しました。その後仕事も無く友達と遊んでいましたが、9月の新聞に建築大工養成所の募集広告を見ました。私は16歳5ヶ月でした。戦争で日本国土は消失され、私の家も昭和19年と20年の地震で倒壊寸前で北に傾き、太い丸太3本で支えていました。それも直したい思いで直ぐに申し込みをしまして、6ヶ月間

の研修を受けました。当時は戦後で仕事も無く父親が乳牛を育てるとのこと、私の第1号の家は何とか小さな牛小屋を建てました。それからが大変で、苦勞もりましたが、良き親方、先輩、そして家を建てられる方々にお世話に成りました。昭和37年に自動車の免許、翌年には建築請負の登録も取得しました。建築組合に加入して、会員の方々の応援、推薦を得まして、本部団体（組合員8000人）の監事4年、副会長を10年務めました。昭和56年、地

元区長に推薦を受け、玉東防犯モデル地区の結成式を開催しました。昭和60年には保護司に委嘱され、20年間で31人の対象者の保護観察を担当しました。平成9年には社会福祉協議会理事を委任され、会長の代役で色々の会議に出席しました。平成11年には東京の日本武道館で天皇、皇后両陛下ご臨席のもと、更生保護制度施行50周年記念祝賀会にも参加しました。

平成28年3月には、私の米寿の祝賀会を子供や孫達が、親戚来賓など多くの方々を招待、盛大にして頂いた事を嬉しく思っています。若い頃より趣味は無く、初老を経過後友達と旅行に興味を持ち、国内は勿論、海外も東はアメリカ、カナダ、西はスペイン、ポルトガル、北は旧ソ連、南はオーストラリア、フィリピンなど24ヶ国行き楽しんで来ました。72歳の時、町商工会のパソコン講習を受け、3年後にビデオ映像講習も受け、遅まきながらの趣味を楽しんでいます。



家族写真(前列左から2番目が本人)



玉東防犯モデル発会式



エジプトのピラミッドとスフィンクスの前で



米寿の祝賀会

私の親孝行は大工職人時代、給料袋を開封せず母親に手渡した事が今懐かしく思い出します。最後に成りますが、家内は満50歳、後継者の娘は47歳で鬼籍に入ったことは、私にとって一番寂しい想いです。でも現在は子供、孫を始め親戚の方々の皆さん良い人で、最高の侍せを感じています。



大嶋 宣行
(武豊福寿園デイサービス)

プロフィール

生年月日：昭和4年3月17日
年齢：94歳
夢：30才若くなりたい

各施設 TOPICS トピックス

7月27日、お楽しみクラブでスイカ割りを行いました。今年のスイカは大きく、スイカめがけて木刀を振り下ろしますが、なかなか割れませんが、皆さん交代しながら挑



花の里 スイカ割り!

戦し、少しずつ割れ目が見えてくると、周りからの応援に、より一層力が込められ、割ることができました。割れたスイカはジュースにしたり、凍らせてかき氷にしたりして、美味しいスイカを堪能されました。

ケアハウスきぬうら きぬうらバザー開催!



日頃買い物に行くことが難しくなってきた入居者のために、何かしたいという思いからバザーを開催することにしました。職員から着なくなった服や使わずに眠っている物を集めたり、日用品を仕入れるなどの準備をすすめました。開催当日、ちびっ子店員も加わり、会場は終始賑やかで活気に溢れていました。「またやってね」「今度は一番に並ぶからね」などの声を聞くことができ、皆さんに喜んでいただけたようですよとしました。

次回は秋頃開催予定です。たくさんのご来場お待ちしております!

みなみ福寿園ショートステイ 芸術の夏

恒例となってきた外出行事として、「豊田市美術館」へ行ってきました。普段なかなか行けない場所に、みなさん緊張しながら芸術作品を鑑賞し、目を輝かせていました。ある方は、故郷の街並みが描かれた絵を観て「ああ、懐かしいわあ。昔住んでいたのよ」と昔を思い出し、喜ばれていました。回想法にもなり、よい刺激となったのではないのでしょうか。色々な作品を鑑賞し、芸術の秋ならぬ、「芸術の夏」をご利用者、職員共に堪能しました。



赤羽根デイサービス

シャンプーBARでルンルトバスタイム

猛暑が訪れ、連日汗をかく日々が続いています。当デイサービスでは、お風呂好きなご利用者にフレッシュ気分をリラクセスしていただくよう、シャンプーBARを企画しました。香りの良いシャンプーとトリートメントを4種類用意し、その日の気分にあう香りをご自身で選んでいただきました。



「わあー! いい香り。髪がサラサラになるね」「スーッとして、気持ちがいいね」など、女性はもちろん、男性からも大好評でした。浴

室内にいい香りがあるれ、介助する職員も、皆さんと一緒に風呂時間を楽しめました。

田原福寿園デイサービス

ゲートめがけ力強く！

利用者対抗ゲートボール大会を開催しました。どの利用者さんも真剣な表情で力強くボールを打ち、ゲートを目指しました。車椅子を使用している方の中には、自然と立ち上がられ、ボールを打つ姿勢を保てる方もみえました。見学されていた

方々も熱い眼差しで応援し、ボールがゲートに当たると、皆さんの良い音が響きわたると、皆さん大きな拍手をするなど大変盛り上がりしました。



昭和の里デイサービス

「中華三銃士」登場！

デイサービスで毎回「中華三銃士」によるライブキッチン形式で中華バイキングをご好評いただいている開催しました。

行事食ですが、コロナの感染状況も少し落ち着いてきたことから、陳健一氏直伝のレシピで作られた元祖麻婆豆腐に、肉汁たっぷりの餃子、パラパラに炒められた炒飯など、目の前で作られる熱々の本格中華に、ご利用者の皆様も食い入るようにその様子を眺められ、「普段食べられないような料理が目の前で作ってもらえて嬉しかったよ」と。一風変わった企画でしたが、皆様に五感を使って楽しんでいただくことができました。



古田管理者率いる「中華三銃士」によるライブキッチン

田原ゆの里

夏といえど！

8月に入り、厳しい暑さを感じ始める時期となりました。

室内で過ごす時間が増える方も多いと思いますが、職員と共に夏バテを吹き飛ばす勢いで、流しそうめんを行いました。そうめんは勢いよく、なかなかのスPEEDで皆さんの前を流れていきます。胡瓜やトマト、巨峰も流れ、食べている途中でも目の前に流れると、掴もうと手が止まりません。普段では見られない早い動きに皆で大爆笑でした。「たまには外で食べるのも良いですね。」



ひまわり邸

家庭介護者セミナー

7月14日、キヤリアパートナはびすまで「あなたの人生の始まりに私がいかに付

き添ったように、私の人生の終わりに、少しかだけ付き添ってほしい。」



表の河内先生を講師に迎え、「認知症の方の理解とケア」をテーマに、ハートフルケアセミナーを開催しました。地域住民の方が参加され、認知症の原因や症状、コミュニケーションの基本を学びました。最後に、認知症の方が子供たちに書いた手紙を先生が朗読してください、感動の渦の中、人生の始まりと終わりに思いを馳せることができました。

ちた福寿園

踊らにやそん！そん！

玄関ロビーにお手製のミニやぐらを建て、いつでも盆踊りを楽しめるスペースができました。8/10〜18までを盆踊りウィークとして、一日中盆踊り曲を流している



るので、通りがかりに太鼓を叩いてみたり、一緒に歌ったり、みんなで踊ったりと皆さん楽しみ方はさまざまです。はじめは見ていた方も、「踊らにやそん！」と、いつもより食べれちゃう」と大変喜ばれ、暑さも吹き飛んだようです。

豊田福寿園

そうだ！温泉に行こう！

「温泉に入りたい」という声を聞き、天然温泉寿楽



荘に出掛けてきました。自然いっぱいの景色を見ながら湯船に浸かると、お風呂が苦手だと思っていた方から鼻歌が聞こえてきたり：（笑）

温泉の後は？もちろん「かんぱーい！」と宴会の始まり。温泉の後の一杯は格別ですね。天然鮎にも頭からかぶりつきました。温泉や会席料理で心も体もあたたまり、帰りの車中で「次はどこに行こうか？」と早速盛り上がりました。

木田の里
露天風呂で花火満喫！

8月12日、東海市の花火大会が開催されました。じつは福寿の湯の露天風呂は花火鑑賞に絶好のロケーション。間近で上がる花火が真正面に見えるんです。それをお目当てにいらしたお客様は、露天風呂でスタンバイ。知らなかつたお客様は突然のサプライズに大喜び。夏休みでご家族連れも多く、夜空に咲く色とりどりの花火の競演に歓声が沸



き上がり、みなさんお風呂上がりは笑顔がいっぱい。心もからだもあたたまった真夏の一夜となりました。

養護盲福寿園

海に来たら...



毎日暑い日が続きますが、入所者と一緒に赤羽根西海岸まで出かけてきました。元々海が大好きで、若い頃はよく友人と海までドライブをしていたそうです。久しぶりに訪れた海は広く穏やかで、とても感激されていました。せっかくなので波打ち際まで歩こうと思いましたが、砂浜が歩きにくかったため断念し、海に向かって大きな声で叫ぶことにしました。なかなか人前では口にできなかった願いごとを叫び、気持ちもスッキリした様子でした。他にも願いごととはたくさんあるようすが、ひとつひとつ一緒に叶えていけたらと思います。

くすのきの里ショートステイ

手作り風鈴で涼しさを感ずる

梅雨も明け、本格的な夏がやってきました。外では蝉の鳴き声も聞こえてくる中、夏の風物詩である風鈴を皆さんと作りました。「どんな模様にしようかな？」と、作るときの表情は真剣で、完成した時は「きれいにできたよ」と皆さん笑顔いっぱいでした。完成した風鈴は、早速部屋に飾られていました。本格的な風鈴ではありませんが、自分で



作った風鈴は、暑さが吹き飛ばくらいに涼しげですね。

渥美福寿園ショートステイ
伊良湖にドライブ

6月下旬の気候も気持ちの良い季節になり、リニューアルオープンした伊良湖のクリ

スタルポルトに出かけました。地元渥美の野菜やお菓子などもいろいろ売っているのので、売り場を回りながら買い物をしたり、伊勢湾フェリーの乗り場も兼ねているので、丁度到着したフェリーを窓越しに見ることもできました。来場記念のスタンプを押して「ちょっと真ん中からずれたね」と談笑しながら、楽しい時間を過ごされました。



東海福寿園ショートステイ

あま〜いベトナムぜんざいを召し上がれ

ベトナム出身の職員が、母国のおやつをふるまってくれました。ベトナムのぜんざい「チエー」は、ココナツミルク入りでもとても甘くて口当たりもよく、利用者さんも「初めて食べたけどおいしいね」「また食べたいわ」と笑顔で言ってくださっていました。「みなさんの口に合うのだろうか」とドキドキしながら作ってくれた職員は、その感想にとても嬉しそうでした。



てきたであろう利用者さんにも、まだまだ知らない味があるということ、が分かり、新たな食べ物との出会いが、これからの楽しみの一つになればと思います。

田原福祉グローバル専門学校
楽しく福祉を学ぼう

7月17日、田原市内の小学生を招き、「たっぷくごどもキャンプ」を開催しました。子どもたちに「楽しく福祉を学んでほしい」との思いから、昨年から開催しています。今年のメイン企画は「たっぷく謎解ゲーム」。ほかにも工作、福祉機器体験、学生との交流や福祉レクリエーションなど、様々な企画を体験し、楽しんでもらいました。これをきっかけに、将来、福祉の道を目指す子が少しでも増えてくれたらと願っています。



ひまわりの街ショートステイ

たこ焼きパーティーをしよう!

昨年度はなかなか行事ができませんでしたが、今年は少しずつ開催しようということで、皆さんこの日を楽しみにされていました。

職員が外で焼いているのを見て、「私にもやらせてくれませんか」と



一緒に焼いてくださいました。丸めるのが難しく「なかなか上手くないかなあ」と苦戦されていました。アツアツのたこ焼きを喜んで召し上がった。この日は38度と気温の暑い日でしたが、暑さに負けず、皆さん元気いっぱいでした。

武豊福寿園ショートステイ

夏十スイカリすいか割り!!

今年「日常を取り戻そう」というスローガンのもと、昨年行えなかったスイカ割りを利用者・職員ともに楽しみました。目隠しをした利用者さんに、周りの利用者さん達が大きな声で「もつと前だよ!」「少し右!」など賑やかに教えてくれたおかげで、全員がしっかりとスイカに棒を振り下ろすことができました。中には、わざと指示と別の動きをして盛り上げてくれるお茶目な利用者さんもいて、笑顔



の絶えない夏の思い出となりました。

サーフィンサークル開催

今年度から法人サークルに仲間入りしたサーフィンサークルが、7月11日に開催されました。当日は、まさにサーフィン日和の夏日となり、サーフィンの世界大会が行われたこともある田原市赤羽根のビーチでレッスンを開始しました。サーフボードの上に立ち上がる練習等をした後、裸足でビーチを歩きながらみんなのテンションもMaxに、いざ太平洋へ! 上手くサーフボードの上に立てたり立てなかったりしながら、みんなでクタクタになるまで波乗りを楽しみました。



バンテリンドーム野球団体観戦



7月8日、バンテリンドームへ中日対広島戦に行ってきました。職員、家族、養護盲の入居者の合計20名で、試合開始前からビールなどで喉を潤し、応援の準備も万端。4回に1点を先制されたときはヒヤヒヤしましたが、6回、8回の攻撃で形勢逆転! ヒットが出るたび、大きな声で歓声を上げて、全員でハイタッチの嵐。ビールの祝杯も止まりません。最後は守護神マルティネスが締めて、試合終了。心地よい時間を過ごすことができ、コロナ禍から少し解放されたような気持ちになりました。

久々の大相撲観戦!

7月12日、大相撲名古屋場所へ観戦に行きました。久々の観戦ということもあり、入居者の方もとても楽しみにされ、車中で盛り上がりながら会場に向かいました。会場では夏の暑さに加え、真剣勝負の取り組みに熱気いっぱい! 力士が間近で見えたり、力士同士がぶつかりあう音を直接聞けたりすることができ、「やっぱりテレビとは違って迫力があるねえ」と興奮ばかりでした。コロナが徐々に緩和され、普段の生活で楽しみが増えつつある中で、外出し、観戦できたことにみんなが喜びを感じる一日でした。



川口やなへレッツゴー! アウトドアサークル

職員とその家族合わせて20名で、豊田市矢作川の清らかな流れの中に作られた「川口やな」で、鮎のつかみ取りと鮎料理を楽しむに行ってきました。夏の強い日差しの中でしたが、川での水遊びや鮎のつかみ取りでは、大人も子供も一緒にはしゃぎながら捕まえました。爽やかな川風を感じながら自分たちでつかんだ鮎料理を堪能し、夏の素敵な思い出ができました。



愛を叫ぼう!!

テレビ愛知の番組『千原ジュニアの愛知あたりまえワールド』の「テレビ番組で気持ちを伝えてみませんか?」という企画の撮影に、職員が参加しました。場所は恋人の聖地として知られる田原市の恋路ヶ浜です。

母国で暮らすお父さんや、日頃なかなか感謝の気持ちを伝えられていない家族に、そして利用者さんに向けてなど、それぞれが思う『愛』を叫びました。

8月12日に番組は放送され、画面に大きく映しだされました。いい記念になりましたね。



秋の文化祭

開催予告

各施設とも、入場は無料です。お誘い合わせのうえ、ご来場ください。
みなさんのお越しをお待ちしております。

養護盲福寿園・田原福寿園

「わたしの彼は左きき」



麻丘めぐみ 歌謡ショー

第30回 福寿園文化祭

10月1日(日) 11:00~15:00

- 「福祉の心」絵手紙表彰式 ●飲食バザー
- 福祉体験スタンプラリー など

ひまわりの街

「あなたにあげる」



仁支川峰子 歌謡ショー

ひまわりフェスタ2023

10月22日(日) 11:00~16:00

- キッチンカーによる飲食バザー
- 「福祉の心」絵手紙表彰式 など

家族会だより

各施設での家族会や家族親睦会の活動を報告します。

渥美福寿園 環境美化活動

7月29日、5年ぶりに行
う渥美福寿園夏まつりの1
週間前となり、家族会の皆
さんと一緒に施設外周の環
境美化を行いました。総勢
36名の方に参加していただ
き、4カ所に分かれて行い
ましたが、みなさんの作業
がとても手際よく、見る見
るうちに綺麗になりました。
暑い中の作業でしたが、
みなさんのおかげで園内は



花の里 草取り活動

綺麗になり、本当にありが
とございました。



7月15日、施設内の草取
り活動に、17家族18名のご
家族が参加してくださいま
した。8月に行われた花宵
祭りに向けて、職員と一緒
に花壇や芝生の中を中心に、
草取りを行いました。日差
しが強く照り付ける中、草
取り活動に精を出していた
だき、ありがとうございました。
草取り活動後の懇親

武豊福寿園 草取り清掃作業

会では、花の里のレストラ
ンにてコーヒーを飲んでい
ただき、涼んでいたいただき
ました。

7月23日に家族会主催に
て施設周りの草取りと1階
ロビー周りの窓の清掃をし
ていただきました。快晴で
とても暑い中、19家族、合
計35名のご参加ありがとうございました。
一緒に清掃活動をし、一緒の
時間を過ごすことで家族会
の「絆」がより強くなった
ように感じられました。清
掃活動終了後は、冷たいア
イスとジュースで疲れを癒
していただき、昭和の里の
お菓子を持ち帰っていただ
きました。



福寿園オリジナル四コマまんが

新人介護士フクちゃんの日々の奮闘を通して、実際に福寿園の介護現場で営まれる老人ホームの日常を四コマまんがで楽しく伝えます。

連載 Vol.7

「新人介護士」 つりちゃん



連載 外国人介護士 紹介インタビュー

福寿園では、現在100名(フィリピン人 65名、ベトナム人 32名、インドネシア人 3名)の外国人介護士が各施設で働いています。毎号一人ずつ紹介します。

- Q なぜ日本に来ようと思いましたか？
A 子供のころにアニメが好きだったので、いつか日本に行けたらいいなあと思いました。
- Q 日本で働いてみてどうですか？
A 家族から遠いところで働くことが大変ですが、日本人の様な働き方を身につけて、成長できてよかったと思います。
- Q 趣味はなんですか？
A 映画やドラマを見ること。音楽を聴いたり運動や旅行も好きです。
- Q 日本の好きな食べ物はなんですか？
A お寿司です。日本のパンは大好きです。
- Q 日本で行ってみたいところはありますか？
A 北海道と沖縄へ行ってみたいです。
- Q 日本に来て一番心に残る思い出はなんですか？
A 冬の寒さに驚いたけど、観光地の美しさは感動します。利用者さんと接する時の楽しさは心に残っています。
- Q 最後に一言お願いします。
A 仕事は大変だけど、趣味や楽しみも見つけて頑張りたいです。



ドゥアマン カスリン
ニックネーム
カスリン
ひまわりの街
国籍:フィリピン

連載 施設長・管理者の リレーコラム

特別養護老人ホーム
東海福寿園

施設長 黒野 亜樹

ひまわりの街の傍嶋施設長からバトンをいただきました、東海福寿園施設長の黒野亜樹です。毎回このリレーコラムを読み、施設長の皆さんの多趣味にいつも羨ましさを感じています。私は趣味という趣味はありませんが、ジューとしておれず、時間があればここ掃除しよ、あそこ片付けよ、ご飯の作り置きしよって家の中でゴソゴソゴソソしています。

私の自慢は3つ!! 毎週日曜日に大量の買い出しをする私に付き合ってくれる社会人の長男坊、15歳で親元を離れ寮生活をしながら高校野球を頑張っている次男坊、100%の愛情を受け取ってくれる愛犬“パンチ”の存在です。2人の子どもの手が離れ、これからも旦那様と仲良く暮らししていくために愛犬パンチを迎え入れました。本当に可愛くて可愛くてご飯も寝るのも一緒です。次男の野球がひと段落したので、チャーミーグリーンのお夫婦の様に夫婦仲良くパンチを連れて旅行に行きたい今日この頃です。

次号は、養護盲福寿園 金子施設長へバトンを渡します。



障がいとは特別なことではなく、ありのままがいいという世の中を目指して

ダウン症の子を持った奥山佳恵さんは、最初は不安で真っ白になりましたが、

子どもの可愛さに気づき、どんな子であっても認める生き方を選びました。

ダウン症の子はゆっくり大きくなるけれど、多くの人に支えられている。

障がいとは特別なことではなく、ありのままがいいという世の中を目指して、ポジティブに明るく語ります。

生きてるだけで

100!

点満点!



講師 >

俳優・タレント

おく やま よし え
奥山佳恵さん

東京出身。

映画のオーディションでグランプリを獲得し、日本アカデミー賞新人俳優賞も受賞した奥山佳恵氏は現在、長男とダウン症の次男を育てて日々奮闘している。また、ダウン症への理解を深めて欲しいと、TVや講演活動などで日常を積極的に伝えている。

みんなではぐくむ福祉の心

第7回 感謝の集い

入場無料

お問合せ

武豊福寿園 TEL (0569) 72-8811
くすのきの里 TEL (0569) 74-1688

令和5年

11/18 土

午後1時30分～午後4時
開場=午後1時

武豊町民会館 (ゆめたろう)

輝きホール

愛知県知多郡武豊町字大門11

主催 / 社会福祉法人福寿園、福寿園をはぐくむ会「未来」

後援 / 武豊町、武豊町議会、武豊町教育委員会、武豊町社会福祉協議会

Program >
プログラム

オープンアクト Swing Band TAKETOYO

第1部 > 「福祉の絵手紙」表彰他

福寿園の施設がある市町の小学生が福祉の心をテーマに絵手紙を描く活動です。愛知県内の渥美半島、豊田市、武豊町で行われており、毎年、個性的であたたかい作品がたくさん寄せられています。

第2部 > 講演：生きてるだけで100点満点!

俳優・タレント 奥山佳恵氏



福寿園をはぐくむ会「未来」



令和5年9月10日発行

■発行 / 社会福祉法人 福寿園
■理事長 / 古田周作

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。



Instagram

facebook

YouTube

vol.171 16